

日港労連・港荷労協25春闘 速報第5号

(発行元) 日本港湾労働組合連合会 書記局・港湾荷役事業関係労働組合協議会 事務局
住所 144-0052 東京都大田区蒲田5-10-2 日港福会館3階 電話 03-3732-5503
ホームページ <http://nikkororen.jp/> (発行人) 古澤 隼実

4/9 第2回港荷団交(通算4回目) 業側「次回団交時に有額回答提示」を約束 労側、スト通告は解除せず！！

1. 第2回港荷団交(通算4回目)を4月9日、11時00分より芝浦・サービスセンターにて開催した。
2. 冒頭、業側より4月3日に日港協と国土交通省より連名文書が発出され、発出翌日より価格交渉の取り組みを行っていることを表明された。
加えて交渉をより円滑に進めるためにも「2週間の猶予が欲しい」「次回団交までのストライキの回避を望む」旨を示された。
3. これを受け組合側は、内部審議を図るために休憩を申し入れた。
4. 休憩後、竹内議長より「適正作業料金収受の動きに関しては感謝するが、ストライキ回避の要求を受ける事は出来ない」ことを宣言。加えて、中央団交と港荷団交が連動することにより結果的に、港運専業・現業労働者、事業者の為になる港湾春闘になると確信していると述べられた。
5. よって、4月13日(日)24時間ストライキは決行する旨を表明し、更に期間内のストライキ回避はない事を宣言し、第2回港荷団交は終了した。
6. 次回の第3回港荷団交(通算5回目)は4月24日(木)13時00分より、神戸・ポートオアシスにて行われる。